




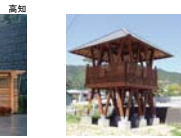




















































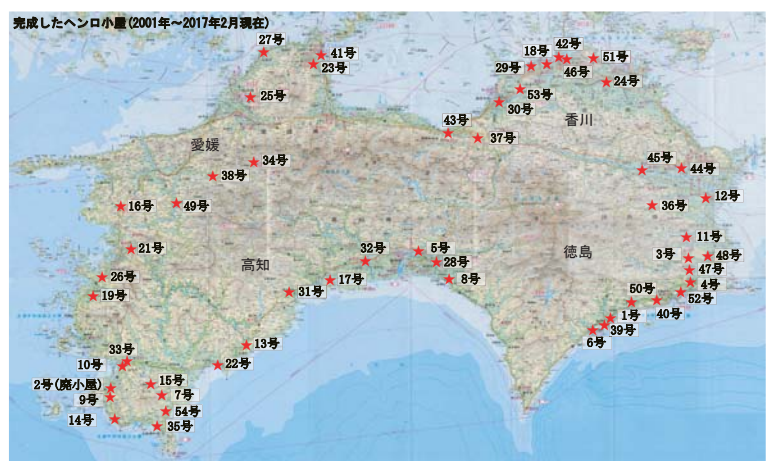
歌一洋 四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト

完成したへんろ小屋 2001年～

 <p>へんろ小屋 1号 香峰 格子のあいたらに地材が使われ、風が流れる 62本の柱は空襲被害の生霊 いろり、ナガス、タタミ、トイレ、倉庫も設 置</p>	 <p>へんろ小屋 2号 弘見(鹿小屋) 材料は全て、近くを切り組み合わせる 建て替通寺、高山山を指す</p>	 <p>へんろ小屋 3号 阿瀬比 村の中央にあり、鐘として ベンチの向きは遠く香通寺、高野山</p>	 <p>へんろ小屋 4号 錠打 空きお運通の家 空き向りの民衆し貝田松をベンチに 地元産の瓦を使用</p>	 <p>へんろ小屋 5号 蒲原 社員14人で地内建築 間伐材の組み合わせて建築</p>	 <p>へんろ小屋 6号 穴喚 行路による産物(地産材) 地元建設職人ボランティア団体が建設 斜柱は会高多く、高強土地 柱は支え合いの象徴でもある</p>	 <p>へんろ小屋 7号 芳井 身近にある素材で建築 年輩のNPO団体による手作り小屋</p>	 <p>へんろ小屋 8号 香我美 古くからの産物の産地 員が高野山に向かって上がる姿 格子は89ヶ所待のイメージ</p>
 <p>へんろ小屋 9号 大月 道の駅にあり、バス停も兼ねる 大月の地からデザインは月をモチーフに</p>	 <p>へんろ小屋 10号 宿毛 この地に残っている「泊り屋」を、道の駅に 再現 夕まが夕日が見える 柱は山から採ったそぞろ</p>	 <p>へんろ小屋 11号 勝浦 デザインモチーフは家産の産地から 柱は京都、北山形の会社からの提供</p>	 <p>へんろ小屋 12号 眉山 阿波語り会館の前に建ち、屋根は女性のトリ オイ空をモチーフに 眉山の麓にあり、目黒もデザインモチ ーフの提供</p>	 <p>へんろ小屋 13号 佐賀 仏教思想の本質を表現したマンドラをカタチ に度焼 中の大師像を拝むと後方は高野山</p>	 <p>へんろ小屋 14号 大浦 「休(やす)ばい」 村人が漁港を留守のまま帰郷として 竹で木と組み合わせて建てる</p>	 <p>へんろ小屋 15号 清水川 身近にある素材で、費用なしで手づくり 経済的かつ容易 7号と同じNPO団体による</p>	 <p>へんろ小屋 16号 宇和 愛媛県最初の小屋 国道側の曲線型は、お通路さんにやさしく 土地、資金は通路文化こそ日本再生のもの と信じている</p>
 <p>へんろ小屋 17号 須崎 板垣の床もあり、開放的で落ち着きのある落ち着いた 開放され、かつ落ち着く</p>	 <p>へんろ小屋 18号 丸亀城郭 うらわの産地 ファードはうらわのイメージ</p>	 <p>へんろ小屋 19号 津島・かも田 かつて四国に多くあったもてなしの場「茶室」 のイメージが再現された</p>	 <p>へんろ小屋 20号 足摺 トンボ公園に建ち、トンボが太平洋に飛ぶイ メージ</p>	 <p>へんろ小屋 21号 宇和島光満 国道側には背壁を設け、小川と樹を映るひ とときを</p>	 <p>へんろ小屋 22号 大方 ホールウォッチングの町、大方の太平洋 に建ち、デザインモチーフはクラ</p>	 <p>へんろ小屋 23号 仙遊寺接待所 「茶室」のイメージ 仏像も安置され、折りの雰囲気のある空間</p>	 <p>へんろ小屋 24号 高松・一宮 近くの産物、徳ノ浦の瀬平合戦から 那須一宮が引く</p>
 <p>へんろ小屋 25号 石手寺前 コンビニの駐車場もあり、落ち着く、開放的 なコミュニケーションスペース</p>	 <p>へんろ小屋 26号 わん屋 この地で生きてきた形に再び建てられた小屋 手を合わせ形の木の高く向うには高野山</p>	 <p>へんろ小屋 27号 鎌大師 大畑の境内に建ち 風早の地名の通り風が強く、しとみガラス 付き</p>	 <p>へんろ小屋 28号 松木大師堂 古くからある大師堂と一体化となった小座 地域の産物にも対応した空間構成</p>	 <p>へんろ小屋 29号 多度津・おかのやま 新式土器の出土地から新式住居をイメージ ジジ精肉店・小学生100人余りが小屋建 りに参加</p>	 <p>へんろ小屋 30号 銭形 デザインモチーフはかつてお蔵様をもちて た寛永通宝の砂金 空海の歌えでもある「十住心論」をカタチに</p>	 <p>へんろ小屋 31号 せえみみず・酔芙蓉 デザインモチーフは海防時に生息する次ウナ 子。個人とコンビニ店が2年間の集 まりによる建築費のイメージ おへんろさんのご遠慮によって寄付された小 屋</p>	 <p>へんろ小屋 32号 天神 地元で多くある竹によって造られた小屋 (柱は桂)</p>
 <p>へんろ小屋 33号 宿毛 地域住民の力の結晶「住民力」の象徴 周囲のロケーションに呼応した空間構成</p>	 <p>へんろ小屋 34号 久万高原 この地で育まれた実態がデザインモチ ーフ。斬新の柱は空を支える人に見立てて いる。通路文化の精神の空を支え合を 表す。</p>	 <p>へんろ小屋 35号 土佐清水 地元の女性会が寄付を集めた建設資金に デザインは土佐清水の市花・椿 人がモチーフの本物の木組みは人</p>	 <p>へんろ小屋 36号 神山 恵まれたロケーションから風景を小屋に取 り入れ、風を最大限に生かした空間のつくり 神鳥が飛び降りたカタチ</p>	 <p>へんろ小屋 37号 しんきん庵・法皇 柱は支え合いの精神を表現したカタチ 風景に溶け込みながら貴族ポイントを通 る そして地域の人のこころのポイントに</p>	 <p>へんろ小屋 38号 内子 愛媛県の山中にあり、いかに産物の地から いかにモチーフ、内子産の産物も少し、地 元産物産品の活動により、町を豊</p>	 <p>へんろ小屋 39号 NASA 近年の自然災害などを危機し社会的実業を つた折りの。建材は個人の寄付、人に見 立てた300本の木材は地区の20人程で出 産(ボランティア)により組み立てられた</p>	 <p>へんろ小屋 40号 日和佐・かめ道路 100余の家内 折りのカタチ かつておさん達の庵があった場所 イメージ 一歩一歩せせらずに中々つくり！</p>
 <p>へんろ小屋 41号 今治・日高 老人ホームの玄関前に建ち、お通路さん、入 居者、職員他のふれあいの場に、木材は メタワで木組みは人。支え合いの精神を 表す。</p>	 <p>へんろ小屋 42号 宇多津・榎田池公園 数十人の会員によるお接待が盛ん。 デザインは半島の湖に生息する千年珊瑚のイ メージ、平面は海の魚がモチーフ。</p>	 <p>へんろ小屋 43号 しんきん庵・秋萩 萩の萩の秋萩のイメージで作り上げる。 デザインイメージは、萩の萩とやわ らかさ。</p>	 <p>へんろ小屋 44号 神宅 素人10人が14棟建てて建て上げる。 163本の木材は人に見立て、人の繋がりの 大切さを表している。</p>	 <p>へんろ小屋 45号 空海庵・切幡 正面のデザインは空海の切幡にまつわる 空海の物語から、ソーラーパネルによる照明 を設置。工費は地元の寄付による。</p>	 <p>へんろ小屋 46号 ビボト坂出 地元企業が空へんろさんのために設置した足 道に建ち、建物は個人の寄付、人に見 立てた300本の木材は地区の20人程で出 産(ボランティア)により組み立てられた</p>	 <p>へんろ小屋 47号 大根 近年の自然災害などを危機し社会的実業を つた折りの。建材は個人の寄付、人に見 立てた300本の木材は地区の20人程で出 産(ボランティア)により組み立てられた</p>	 <p>へんろ小屋 48号 京塚庵 100余の家内 折りのカタチ かつておさん達の庵があった場所 イメージ 一歩一歩せせらずに中々つくり！</p>
 <p>へんろ小屋 49号 鮎川源流の里 信託金庫と個人の寄付。地元小中学生の結 成の展示ケースを設置し通路文化の継承を 促す。デザインは鮎川源流のイメージ。</p>	 <p>へんろ小屋 50号 牟岐 数十人の会員によるお接待が盛ん。 デザインは半島の湖に生息する千年珊瑚のイ メージ、平面は海の魚がモチーフ。</p>	 <p>へんろ小屋 51号 五色台子どもおもてなし施設 子どもたちがお接待を行う小屋で、宿泊も可 能。五色台の山中にあり周囲の風景に融合 するようプランは五角形。</p>	 <p>へんろ小屋 52号 日和佐海船弁 西方浄土に向かう舟のイメージ。 建設費は100人余り企業家の寄付による。</p>	 <p>へんろ小屋 53号 茶処・みよ高瀬 韓国、日本、イギリスの方々の浄制により建 たへんろ小屋を支援する。日本、韓国、イ ギリスの茶の文化から茶室をモチーフに。</p>	 <p>へんろ小屋 54号 四万十 四万十川のイメージ。資金は地元の信託金庫 とへんろ小屋を支援する。お接待は近く の老入ホームの入居者とオーナーが。</p>	 <p>へんろ小屋 55号 新居浜 空き家の家の利用。既存壁に断熱材がモチ ーフの壁紙を取り付けた。お接待は近く の老入ホームの入居者とオーナーが。</p>	 <p>へんろ小屋 56号 徳島空港ビル 徳島空港のビル内にお通路さんの休憩所。 折りのカタチ かつておさん達の庵があった場所 イメージ 一歩一歩せせらずに中々つくり！</p>

歌一洋 四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト

一支えあい・お接待の精神を持つ通路文化の継承と広がりを願って—
四国に八十八ヶ所の豊揚礼所を巡拝する通路道がある。
空海が開いたとされ1200年間、お通路さん、地元の人達によって今に受け継がれている。
折りを体現した「お接待」と「循環性」というシステムは世界でも稀である。
この四国の通路道1400kmの89ヶ所に、お通路さんが休憩、仮眠する「へんろ小屋」をボラン
ティアで造るプロジェクトを推進中。
歌一洋が2000年に立ち上げ現在54棟完成している。(四国四県知事を顧問、数十人の発起人の
もとに「四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト」を支援する会を2006年4月に発足)
小屋は地域の多くの人達と共に、つくる過程・つながりを大切にしながら造っている。
小屋の設計にはその地域特有の風土、産業・伝統文化・建築等の文化・空海の思想を多少なり
とも反映させている。そしてこころと景観のポイントとなり、新たな風景が創出できれば
と考えている。
小屋を手段として「折り」「人と人、人と自然のふれあいや支え合い」の精神が四国から世
界へ展開されることを願って・・・



歌一洋建築研究所(一級建築士事務所)
〒541-0059 大阪市中央区博労町1-7-11 空の箱3F t:06-6264-2150 f:06-6264-2160
mail:uta@wonder.ocn.ne.jp HP:http://www.uta.rgr.jp
「四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト」を支援する会事務局
HP:http://www.geocities.jp/henrogoya/